

ガバナー公式訪問

1978年創立を迎えられる高砂青松ロータリークラブ様を訪問させていただきます。光栄に存じます。

宜しくお願いいたします。

本日の訪問に際しまして、深川純一PDGの伊丹クラブ例会での3分情報（純ちゃんのコーナー）と年2回開催していました、全国から多くのロータリアンが参加いただいていた15回の講演集を、謹呈申し上げます。本合本はクラブ運営またロータリーの理念、歴史を学ぶには最適の書と存じます。伊丹クラブが3年前の60周年記念事業として計画いたしていましたが、読みやすくするための校正に若干の修正を加えていますが、本旨は変更していません。この作業が思いの他時間がかかり、やっと今日お届けできた次第です。

令和3年10月20日(水)



国際ロータリー第2680地区
東播第2グループ ガバナー
吉岡 博忠 様

RI会長テーマとガバナー行動指針をご報告させていただきます。

シェカール・メータ氏RI会長テーマ

カルカッタ-マハナガル・ロータリークラブ（インド、西ベンガル州）に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長テーマ **SERVE TO CHANGE LIVES「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」** を発表しました。

「人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから。ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。また「ロータリーが私の心に火をつけました」自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である”という信条を持つようになりました」と語り、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求め、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。

多様性と会員基盤の向上に焦点を当て、会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある、とメータ氏。全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう呼びかけました。メータ氏の「Each One, Bring One」(みんなが一人を入会させよう)は、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、Covid19との闘い、地域社会への奉仕を続けていく

のは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」と締め括りました。

ガバナー行動指針

今年度のガバナー行動指針を“**For the dynamic Leaders of futures with Rotary**”**「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」**とさせていただきます。

このような感染拡大のなかで巣ごもりするのではなく、あらためて「親睦」と「奉仕」の実践のための「学び」にスポットを当て、リーダーの「人材育成」を標榜させていただきます。

ロータリアンのみならず、ロータリアンに関わる全ての人々（従業員、関係団体等々）が、行動的、力強い、生き生きとした、活力に満ちたリーダーを育てるためにとしました。

「人材育成」はロータリーの大きなターゲットの一つであり、個人倫理の確立、人間の魂のあり方を問い、人を育てる核心は、穢れ無き魂を持った人を育てること、どのような人をどのように育てるかが最も大切であると考えます。

地区・クラブリーダーの皆様へ期待を込めてのお願いです。

ロータリーの全てのプログラムが人材育成に繋がります。これを意識しないと忘れ去られているのが現状です。私たちはこの機会に恵まれたロータリアンは自らを体現することによって「人材育成」をお願いいたします。あらためて「親睦」と「奉仕」の実践のための「学び」にスポットを当て、リーダーとしての「人材育成」をスローガンとさせていただきます。

これはロータリアンのみならず、ロータリアンに関わる全ての人々、従業員、関係団体等々・Dynamic・動的な、力強い、生き生きとした、活力に満ちたリーダーを育てるためにとしました

現下の感染状況で、フェスタ等運営や奉仕プロジェクトの具体的な目標や進行管理は、地元自治体の措置指示を遵守しつつ実施いたしますが、決して巣ごもりするのではなく、全てのプロジェクトの進行にあたって、「人材育成」を意識した運営をお願いいたします。この「不自由を自由に楽しむ」心意気がロータリアンの真骨頂であると確信しています。



委員会報告 or その他連絡事項 et cetera

吉岡ガバナーより、高砂青松R.C.へ 深川純一パストガバナーの書籍 贈呈

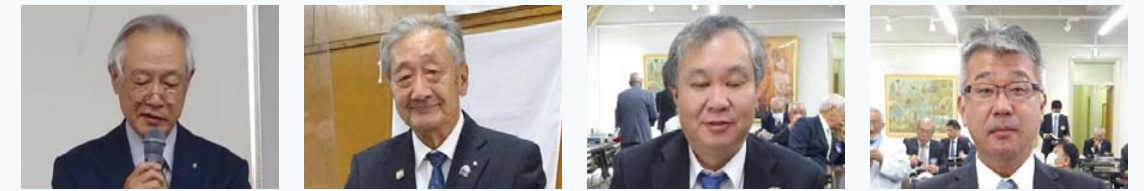


例会記録 2021.10.20 (水) 通算 2005 回

ソング 「我等の生業」「四つのテスト」「歓迎歌」

出席報告 9月29日 会員数40名 欠席者 8名 出席率 75.76% (修正による)
(この内出席免除者 17名)
10月20日 会員数40名 欠席者 3名 実出席者数 29名
(この内出席免除者 17名) 出席率 90.62%

本日のゲスト 国際ロータリー第2680地区 東播第2グループ
ガバナー 吉岡 博忠様 (伊丹R.C.)
随行者 田中 賢一様 (伊丹R.C.) 児玉 司様 (伊丹R.C.)



幹事報告

Secretary

幹事報告 第10回 (通算 2005 回)

- 地区より
 - 日本経済新聞社 10月22日 (金) 朝刊全国版一面広告掲載についてのお知らせが届いています。
 - 第3地域RRF および担当ARRFより、「第3地域ロータリー財団チームニュース 第3号」及び「財団室 NEWS 4月号」の「資金モデルの変更」について届いています。
 - ハイライトよねやま 259号が届いています。

- 幹事より
 - 「令和3年8月佐賀・長崎豪雨災害」支援について募金箱にてあつまった28,000円を地区へ送金しています。御協力ありがとうございました。
 - 「日本のロータリークラブ100周年記念バッジ」を10個、吉岡ガバナーよりいただいております。

- 明石東ロータリークラブより
例会変更のお知らせが届いています。



回覧していますので宜しくお願いします。

来週の例会は、このたびの衆議院議員選挙の候補者である渡海紀三朗さんの昨今の政治情勢についての卓話となっています。多数のご出席をお願いいたします。

ニコニコ報告

Donation

吉岡 博忠様 (ガバナー)

ご挨拶

松下 和雄

吉岡ガバナーようこそいらっしゃいませ。卓話、よろしく御願いたします。

西田 光衛

ガバナー公式訪問の為に久しぶりに洋服を着ました。30分かかりました。

増田 耕太郎・志方 正昭・柿木 國夫
中谷 利幸・田中 伸明・京谷 慎平

櫻井 宣孝・田中 浩行・川崎 一生
廣瀬 明正・濱田 喜重・三枝 丈次
内海 薫・佐野 栄作・村上 則宏
庄司 武・入江 啓太・坂口 嘉久
矢野 聡・大橋 卓司・森本 匡裕

吉岡ガバナーをお迎えして。

吉川 弘

結婚記念日、お祝いありがとうございました。
誕生日お祝いありがとうございました。

大村 裕史

早退します。



10月24日は世界ポリオデーです。

今一度、ポリオについて考えてみたいと思ってお話をさせていただきます。

ポリオ（急性灰白髄炎）とはポリオウイルスによって引き起こされ、神経組織に入って、身体まひを引き起こし、時には死に至ることもあります。5歳以下の子供に感染する確率が高く、「小児麻痺」とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防可能ですが、治療法は有りません。また、他の多くの疾病とは異なり、ポリオは根絶が可能です。



ロータリーのポリオプラスプログラムは、30年以上にわたりロータリーとそのパートナー組織がこどもを対象とした大々的な予防接種を通じてポリオの根絶をめざす、世界で初めての取り組みでした。世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の中心的パートナーであるロータリーは、主にアドボカシー（政府への働きかけ）、ファインドレイジング、ボランティア動員、認識向上に貢献しています。

ロータリー会員は、これまでに22億米ドル以上を寄付し、122カ国、約30億人以上の子どもに予防接種を行うために多大なボランティア時間を捧げてきました。また、アドボカシーを通じて各国政府からの100億ドル以上の資金を確保する上で重要な役割を担ってきました。

1988年、世界ポリオ根絶推進活動を開始した当時は、125カ国で毎年35万件のポリオの症例がありました。現在、ポリオの発生率は99.9%減少しており、野生型ポリオウイルスの発症が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。ロータリーとパートナー団体によるポリオ根絶活動のおかげで、身体麻痺とならずにすんだ人の数は推定約1940万人、命を落とすことのなかった人の数は推定150万人以上に上ります。

ポリオ根絶活動の為に築かれたインフラは、他の疾病（新型コロナウイルスも含む）の治療と予防にも利用されており、ほかの公衆衛生分野にも長期的なインパクトをもたらしています。

100万人以上のロータリー会員が、ボランティアや募金を通じてポリオ根絶推進活動を支援しているほか、ポリオ感染リスクが高い国々に多くの会員が赴き、予防接種活動に参加しています。また、UNICEF（国連児童基金）などの団体と協力し、紛争や地理的・経済的要因によって隔離された地域での予防接種への認識を高めるための情報資料を作成し、さらにボランティア動員やワクチン輸送など手配面での支援を行っています。

ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶された疾病となり、歴史上最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。

今一度、世界ポリオデーに私達が出来る事を考え行動しようではないでしょうか！

◇ プログラム予定 ◇

10月27日(水)	卓話 渡海紀三朗様 【米山奨学委員会担当】
11月3日(水)	祝日(文化の日)
11月10日(水)	卓話 地区ロータリー財団 丸尾研一委員長 【ロータリー財団委員会担当】
11月17日(水)	卓話 ハリマニックス㈱代表取締役 菱田好美様 【クラブ会報・広報・記録委員会担当】

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長	松下和雄	幹事	入江啓太	クラブ会報・広報・記録委員長	坂口嘉久
例会日時	毎週水曜日 12:30		例会場	高砂商工会議所会議室(2F)	
事務局	高砂商工会議所内 〒676-0064		高砂市高砂町北本町1104	電話	(079) 443-0500